

いまりフラザだより



《 編集・発行 》

伊万里市男女協働参画懇話会 いまりプラザ

事務局：企画政策課 男女協働推進係 0955-23-2115

“いまりフラザ”とは

男女協働参画社会の実現を目指し、出前講座などの啓発事業や市の男女協働参画関連事業が計画通りに進んでいるかのチェックなどを行っています。

現在14期、男性6名 女性11名で活動中です。

参加をお待ちしています

令和4年度 男女協働参画フォーラム

日々のストレスを軽くするヒントがいっぱい

『こころを健やかに保つために』を開催します！

講師	田口 香津子(たぐち かづこ)さん [アバンセ館長]
開催日	10月15日(土曜日) 10:30~12:00
会場	伊万里市民センター 文化ギャラリー
参加者数	75名 [定数になり次第締め切ります]
申し込み	伊万里市企画政策課 男女協働推進係 0955-23-2115
託児	託児を希望される方は、事前にお申込みください

❖ 田口 香津子 さん

[専門：障がい児保育・教育相談・保育臨床心理学]
1991~2016年、臨床心理士として各種相談業務に携わる。
NPO法人 被害者支援ネットワーク佐賀VOISS理事長

プロフィール

- 1959 宮崎市生まれ
- 1982 広島大学教育学部心理学科卒業後宮崎大学教育学部研究補佐員、心療内科心理療法士、児童相談所心理判定員(非常勤)。
- 1983 佐賀女子短期大学助手。その後専任講師、准教授。
- 2005 佐賀女子短期大学教授。
- 2014 佐賀女子短期大学副学長。
- 2018 佐賀女子短期大学学長。2022年3月退職。
- 2022 アバンセ館長就任。



お願い

- ・当日体調が悪い方、発熱、咳などの症状がある方は参加をご遠慮ください。
- ・会場では受付時の検温、マスクの着用、手指消毒のご協力をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大状況等により、中止となる場合があります。

“『キラめく☆いまい』ワークショップ”を開催しました！

❁ 令和4年5月21日（土）伊万里コミュニティセンター会議室にて第5次伊万里市男女協働参画基本計画策定のためのワークショップを開催しました。参加者は、市内高校に通う生徒の皆さん、伊万里商工会議所女性会、NPO 法人こすもす村、市議会議員、男女協働参画審議会アドバイザー、いまいプラザ委員、あわせて32名。講師・ファシリテーターに佐賀女子短期大学講師の池田宏子さん。

池田 宏子さんによる男女協働参画講座のあと、伊万里市男女協働参画基本計画の5つのテーマごとにグループに分かれ意見交換をしました。



★5つのグループに分かれ意見を出し合う★

伊万里市男女協働参画基本計画策定の5つのテーマ

1. 男女協働参画の意識改革
2. 政治・防災分野への女性の参画
3. 職場での男女協働参画
4. 生活に困難を抱えた人への支援について
5. DV防止について

★グループごとの提案を発表★



テーマから課題を見つけ、以下の提案が出されました。

- 男女ともに意識を変えること
- 人の目につくところでの啓発
- 若い世代への意識づけと教育や啓発
- 家庭、職場、学校教育の場、地域への啓発
- 性別役割分担意識による無意識の思い込みの解消

全てテーマに共通し、男性だから女性だからではなく、人と人として尊重し合える社会の実現が出来たらいいという皆さんの思いが伝わりました。

参加された皆さんの感想 [一部抜粋]

- ・ 高校生の積極的な意見・発表でおいに盛り上がった。世代を超えて、皆さんの意見を聞いたことが良かった。
- ・ テーマに沿ってトークできたことが良かったと思いました。
- ・ 皆さんの伊万里愛にあふれた意欲を感じました。
- ・ 男女平等となるための一歩を、自分も踏み出せるようになりたいです。
- ・ とても魅力的なことが行われています。一回限りとせず複数回開催し深堀していくことが大事だと思います。
- ・ 池田宏子先生とても良かったです。学校の講演会とかに来てほしいです。

子育て講座 “みんなで学ぶ家族の防災” を開催しました！

❁ 令和4年6月11日（土）、伊万里市民センター 調理室で、暮らしの延長の防災備蓄と、ポリ袋クッキングを学ぶため、子育て講座 “みんなで学ぶ家族の防災” を開催しました。参加者は、子育て中の家族14名と「いまいプラザ」委員8名。講師は住空間アドバイザー『風空感 かぜくうかん』代表の飯田由美子さん。

住まう備蓄

- 非常用リュックの中には何をを入れる？ “一晩寝るだけ” “2～3日過ごす” で中身は変わる。重すぎはNG
- 非常時のトイレは、防臭袋、凝固剤、汚物袋 [オムツがにおわない袋] が有効

食べる備蓄

- 日常食べ慣れている食品を少し多めに蓄えて食べながら回転させる食料備蓄法
- 栄養バランスを意識しながら、子どもは特に普段食べ慣れているものを備蓄
- 飲料水の必要量は一人一日3リットル

ポリ袋調理法

- メリット [違う料理を一度に作れる・食器を汚さない・安上りである]
- 食材だけでなくカセットコンロやボンベにも使用期限がある
- 湯せん出来るポリ袋での調理

当日、ごはん・鯖缶と切り干し大根のスープ・コーンパンケーキ・チーズオムレツを参加した皆さんと作りました。

コロナ感染防止のため、会場での試食会は行わず、持ち帰りしました。

さて、お味の方は、「非常時の食事とは思えない。」「美味しい。」との声を多数いただきました。



★ひとつの鍋に入れる、違う料理を複数準備★

参加された皆さんの感想 [一部抜粋]

- ・ 災害用に別に準備しないといけないと思っていたので、普段から使用するものでいいとわかりとてもよかった。
- ・ 日常生活の延長で出来ることが新しい発見でした。
- ・ 実際に初めてポリ袋調理できてよかった。
- ・ これを機に自分自身の事として取り組んでいきたいと思いました。
- ・ 家に帰ってさっそく実行してみたいと思いました。いろんな方にもっと知ってほしい内容だと思います。

伊万里政策研究クラブの議員の皆さんと、意見交換をしました

令和4年6月の「いまりプラザ」定例会で伊万里政策研究クラブの市議会議員の皆さんと意見交換をしました。

男女協働参画に関するこれまでの流れ

- ・「いまりプラザ」事務局から、平成7年の男女協働参画懇話会設置から現在までの「いまりプラザ」の取組を説明。
- ・議員による、伊万里市における男女協働参画の取組や、男女協働参画を推進する条例第5条に関し「議会は、意思決定機関として、基本理念に基づき、男女協働参画の推進に配慮しなければならない」とし「努める」等の努力目標ではなく義務とすることに伊万里政策研究クラブの議員がかかわったことなどを説明。
- ・議員から国における男女共同参画について、平成9年の男女共同参画審議会設置法から現在までの取り組みや男女共同参画局の冊子やホームページに掲載されたコラムの紹介。



伊万里市男女協働参画シンボルマーク

**意見交換 [抜粋] **

- 議員 地域の役職などは男性が占めており、男女協働参画が進んでいないと感じている。
- 委員 女性が地域の役職に就きたがらない。高齢の女性の中には重要な役は男性が担うべきと考えている人もいる。
- 議員 P T Aに関わっていた頃、小学校の卒業アルバム名簿を男子生徒、女子生徒の順ではなく、男女混合に明記した。以来、子どもたちの意識も変わり、他校の卒業アルバムにも広がりを見せつつある。
- 委員 若い世代の男女協働参画の意識は浸透してきていると思う。
- 議員 市民アンケートの“夫は外で働き、妻は家庭を守るべきと思うか”について中・高校生は男女ともに“そう思わない”がかなり増えていて、若い世代には男女協働参画の意識を持つことは、当たり前になりつつある。
- 委員 若い世代が社会に出て、男性が育児休暇を取得しようとする、前例が無いとの理由で取得できない会社もある。伊万里市の多くの企業は、まだ環境が整っておらず、そういうことが社会で繰り返されることで、若い世代にも固定的な性別役割分担意識が根付いて行くのでは。
- 委員 議員から紹介されたコラムに『ワーク・ライフ・バランスを“仕事を抑制し私生活を大切にすること”と考えている人もいるようだが、そうではない。生産性を高めつつ男女で効率よく働き、ともに家庭・地域に責任を持つこの仕組みが形成できれば子育てや介護の面でも多くのプラスを生み出すはずだ。』とあったが、まさしくその通りだ。

1時間でしたが、伊万里政策研究クラブの議員の皆さんと熱い意見交換が出来ました。
今回が初めての意見交換でしたが回を重ねていきたいと思えます。

*** 男女協働参画懇話会「いまりプラザ」定例会は傍聴できます *** 開催日は伊万里市のホームページでお知らせしています

男女協働参画懇話会「いまりプラザ」では、毎月第4月曜日、市民センターにて定例会を開催しています。
定例会は傍聴できます。詳しくは伊万里市ホームページをご確認、または企画政策課 男女協働推進係へお問い合わせ下さい。
企画政策課 男女協働参画推進係 電話：0955-23-2115
【※会場の都合や、天候、新型コロナウイルス感染症防止等で会場や日時の変更もあります！】

毎年11月12日～25日は“女性に対する暴力をなくす運動”期間です

毎年11月12日～25日は、内閣府が定めた『女性に対する暴力をなくす運動』期間です。
『女性に対する暴力をなくす運動』のシンボルであるパープルリボン！
その色（紫色）にちなみ、内閣府ではその期間中、全国のタワー、商業施設、お城、社屋など建造物等のパープルライトアップの協力を呼びかけています。実施された画像は内閣府のホームページに掲載されます。
伊万里市では令和2年度、令和3年度と2年連続で、伊万里ケーブルテレビジョン株式会社と有限会社 川原プリント社にご協力いただきました。今年度も、賛同いただける企業を募っています。
詳しくは企画政策課 男女協働参画推進係 電話：0955-23-2115 までお問い合わせ下さい。
昨年度の全国で実施された画像は内閣府のホームページでご覧いただけます。

URL [内閣府ホームページ]

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/no_violence_act/index.html



「いまりプラザ」と伊万里市は『女性に対する暴力をなくす運動』期間の11月12日～25日に合わせ、毎年DV防止啓発パネル展を行っています。

今年度も伊万里市民図書館 展示ホールにてDV防止啓発パネル展を実施します。

アンコンシャス・バイアスって知っていますか？

日本語で「無意識の思い込み」のことです。

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあって、あること自体が問題というわけではありません。過去の経験や、見聞きしたことに影響を受けて、自然に培われていくため、アンコンシャス・バイアスそのものに良し悪しはありません。

しかしアンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、そこから生まれた言動が、知らず知らずのうちに、相手を傷つけたり、自分自身の可能性を狭めてしまうなど、様々な影響があるため、注意が必要です。

シーン/職場

- 仕事の最優先を男性に求める職場
- 女性は正規雇用にこだわらなくていい
- 組織のリーダーは男性の方が向いている
- 女性社員の管理職への登用のための教育、研修は必要ない

シーン/家庭

- 家事、育児は女性がすべきだ
- 親の介護は女性がすべきだ
- 男性は結婚して家庭をもって一人前だ

シーン/教育

- 女性に高い学歴やキャリアは必要ない
- 女性は男性のサポートにまわるべきだ
- 女性の幸せは結婚や出産にあり、良妻賢母が一番

シーン/地域・コミュニティ

- PTAには女性が参加すべきだ
- 親戚、地域の会合で食事の準備や片づけは女性の役割
- 自治会や町内会の役職は男性が担うべき

シーン/その他

- 血液型をきいて、相手の性格を想像する
- 性別・世代・学歴などで、相手を見ることがある
- 性別で、任せる仕事や、役割を決めていることがある
- 男性の育児休暇と聞くと「奥さんは？」とってしまう
- デートの支払いは男性が負担すべき
- 女性は感情的になりやすい
- 男性は人前で泣くべきではない

誰もがありのままに、生きることが
できるように、その人らしさを尊重
しましょう！

対処方1 決めつけない・押し付けない

アンコンシャス・バイアスから生まれる言動には「普通はそうだ！」「こうあるべきだ！」「どうせムリだ！」といった決めつけや、押し付けが挙げられます。

対処方2 自己認知

アンコンシャス・バイアスは脳が無意識のうちに自分にとって都合のよい解釈をすることによって起きています。大切なことは自分自身に問いかけて、ひとりひとりが意識することです。

[抜粋引用：内閣府 男女共同参画局 アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み事例集)]

※ 固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見を解消し
無意識の思い込みで悪影響が生じないように、意識改革と理解の促進を図りましょう。

いまいプラザ委員が「出前講座」にお伺いします♪

いまいプラザでは、男女協働参画の大切さを多くの方に伝えるため、様々な団体の会合などに出向き出前講座を行っています。
内容・日時・場所・学習時間等、ご相談ください。

申込み・問合せ
企画政策課 男女協働推進係
0955-23-2115